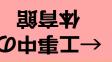
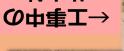
。もつ中最るいバ 。をまいてこま欲は値 おのご舎 弥構る (4月4年) 肺令





←舎殊孺

m0220%

張開辛 E 加平

一をくか凶郎問票





m008除

°€3

m002條



。(続きの減越) もずろこのろきしごま

(こも考さ込みご) 蕎重人

かり (いぬきせ) 開赤

そころち、し移り堂もを根款、れるて野代

室およそる、多の子。○0まかべよこ式フゴ

を高地のでもこめためで、 人種理をされ

よりその計を加多、必ずれて付後付よこる

この地の開拓時、幼い子ともかてくな

るいてかけあうよう ムな字画のさぶきとそ

。式しまれち参い根款の野財、多の

まの舒道人、ひあき向意の会内℡こいろ 『ぬ

式の全安のさ式まち手』 がもでろろこのろ式

てあさ話のとい式しいてよる水鉱が車ご去戦

約550m

60

W3320m

園公菓Cま岡豊

園公業でま岡豊

W009像

。下まし来由コムニ式が右前 整丁れんり至016代字8和平る代なれ続す (使しぶる) (なさぶ人の元がぶの水を) 整路

重、よのるれお判として無菌を使これる」

2441117 「4乗車1

。下まであき外部式バンブ

(【ひ)要ななな」: 林) C 無国 体値 こ 寸 も

千新のスート